



2013年(平成25年)  
5月29日  
水曜日

夕刊

▼1953年のきょう  
エベレスト極める  
ニュージーランドの登山家で英国の遠征隊に参加したエドモンド・ヒラリーさんが人類で初めて、世界最高峰のエベレスト(8848m)に登頂した。その後はふもとの村に学校や病院を建設。ヒマラヤの自然保護にも力を注いだ。2008年、88歳で亡くなった。

朝日新聞東京本社  
発行所:〒104-8011 東京都中央区  
築地5-3-2 電話:03-3545-0131  
www.asahi.com

Canon Presents  
いよいよ クライマックス!!  
**ウィーン少年合唱団**  
花は咲く、トリッチ・トラッチ・ポリカ ほか  
6/5(水) サントリーホール  
S¥6,000 A¥4,000 B¥3,000 P 随切  
他公演有り  
特別協賛:キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
ジャパン・アーツビブ (03)5774-3040  
ウィーン少年合唱団2013 続編

文化〈美術〉	3面
be evening	4.5面
スポーツ	9面
小説	9面
環境	7面
円・株・金融	6面
TV・ラジオ	6.12面



異彩放つ実力派が個展 3面

# オホーツク油田 日ロ開発 権益3分の1確保へ

資源開発大手の国際石油開発帝石(İNPEX)と、ロシア国営の石油会社ロスネフチは29日、オホーツク海北部のマガダン沖で、海底油田の共同開発に向けて協力することで合意し、発表した。日本側は3分の1の権益を確保する見込みだ。エネルギー価格の高騰に悩む日本にとって、原油や天然ガスの調達先が増えることで価格が抑えられる効果が期待できる。

İNPEXの北村俊昭社長とロスネフチのセーチン社長がこの日、経済産業省内で合意書に署名した。İNPEXは共同開発に向けて排他的交渉権を得る。共同開発を予定しているのは、ロシア極東のマガダン州の50〜150キロ沖にある「マガダン2」と「マガダン3」と呼ばれる鉱区。水深100〜200メートルの大規模を開発する。鉱区面積約2万8千平方メートルの大型油田。ロシア側の発表によると、推定埋蔵量は原油換算で1億7700万

トンとしており、単純計算で日本の輸入量の9年分にあたる。2020年代からの採掘をめざす。開発は日本政府も支援し、独立行政法人の石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が探鉱の費用を分担することも検討する。

日本とロシアは4月にモスクワで開いた首脳会談で、安倍晋三首相とプーチン大統領が天然ガスや石油開発などエネルギー分野の協力を極東地域で進めることで合意した。



日本は東京電力福島第一原発の事故後、全国で原発が止まったことで火力発電所をフル稼働させており、液化天然ガス(LNG)や石油などの調達費用がかさんでいる。13年度の燃料費は原発事故前より3・8兆円増える見込みで、燃料をできるだけ安く調達する必要に迫られている。とくに原油は日本が輸入する8割をサウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)など中東に頼る。イラン核開発問題などのリスクを抱えるホルムズ海峡を

通らずに調達できる原油を、より多く確保することが課題だった。ロシア極東は短い時間で日本に運べる利点もある。一方、ロシアは米国発の「シェールガス革命」の影響で、天然ガスの最大顧客である欧州で売り上げが減っていることに悩んでいる。だぶついたエネルギー資源を東アジアに売ろうと、日本や中国に働きかけを強めてきた。ロスネフチはロシア国営の石油会社で、世界で最大の生産量・埋蔵量を持つ。今年4月には丸紅とロシア極東でのLNG事業などで提携した。セーチン社長は元副首相でプーチン大統領の「右腕」とも呼ばれる。2月にも来日、オホーツク海でのエネルギー開発への日本企業の参加を呼びかけた。